

1

誕生50周年記念 ベルサイユのばら展 —ベルばらは永遠に—

令和5年 4/8(土)～6/18(日)

場 所：企画展示室 観覧料：500円(常設展含)



©池田理代子プロダクション

革命期のフランスを舞台に、男装の麗人オスカルと悲劇の王妃マリー・アントワネットが織りなす美しく美しい運命の物語『ベルサイユのばら』が誕生してから50年。

本作は“歴史ものは当たらない”という当時の少女マンガ界の常識を覆し、連載中から読者の熱狂的な支持を集めました。本展では、貴重な原画約180点やオスカルの再現ドレスの展示、当時一大ブームを巻き起こしたTVアニメのセル画など貴重な資料を交えながら、この不朽の名作の軌跡をたどります。

6/26(月)～6/28(水)まで臨時休館

2

アリスの世界展 —不思議な冒険の招待状—

令和5年 7/8(土)～9/18(月・祝)

場 所：企画展示室 観覧料：500円(常設展含)



ジョン・テニエル画『不思議な国のアリス』より

この展覧会は、イギリスのルイス・キャロルが今から150年以上前に執筆した物語『不思議な国のアリス』『鏡の国のアリス』を通して、皆さんを不思議な世界の入口へと誘うものです。

「アリス」の世界には数学や論理学の知見、言葉遊び、マザーグースなどさまざまな要素が詰まっています。日常をいつもと違う目で眺め、楽しむたくさんのヒントが、この物語には隠されているのです。

「アリス」の奇妙で愛すべき物語世界を楽しみながら、その先の不思議も少しだけのぞき込む、そんな冒険へ皆さんをご招待します。

3

めざめる探偵たち ～文豪ストレイドッグス×高知県立文学館～

令和5年 10/7(土)～令和6年 1/8(月・祝)

(※12/27～1/1は年末年始のため休館)

場 所：企画展示室 観覧料：500円(常設展含)



©2018 朝霧カフカ・春河 35 / KADOKAWA / 文豪ストレイドッグス DA 製作委員会

今年は江戸川乱歩が雑誌「新青年」で作家デビューしてから100周年を迎えます。この「新青年」の編集長を務め、乱歩を発掘したのが高知県出身の森下雨村でした。

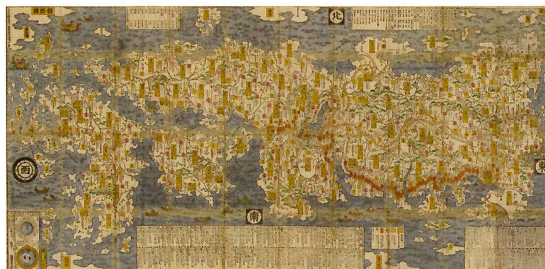
本展では、乱歩や横溝正史に影響を与え、日本探偵小説の礎を築いた高知県出身の3人の文学者(黒岩涙香・馬場孤蝶・森下雨村)に焦点をあて、日本探偵小説の黎明期を多彩な切り口でご紹介します。あわせて開催する「文豪ストレイドッグス」とのコラボ第二弾にもご注目ください。

4

時代小説と歴史小説展 —江戸時代を生きる、今を生きる—

令和6年 1/20(土)～3/24(日)

場 所：企画展示室 観覧料：500円(常設展含)



国土地理院ウェブサイトでデータをもとに作成
日本海山潮隆図(1691年)

市井の人や剣豪などを書く時代小説、史実に忠実な歴史小説。これらの作品は義理と人情、志と野望、時に非業な運命など様々な美意識を映し出し、愛読者も多くいます。

今回は江戸時代を題材とした作品を取り上げ、高知県出身で現在活躍中の志水辰夫、辻堂魁、山本一力、藤原緋沙子、畠中恵らの時代小説と、令和5年に生誕125年となる井伏鱒二、生誕100年となる司馬遼太郎などをはじめとする高知ゆかりの作家の歴史小説を紹介しします。

そ の 他 の 催 し 物

※イベントの日時・内容は変更になる場合がありますので、詳細はお問い合わせください。
(文学館のホームページでは最新の情報がご覧いただけます。)

◆おはなしキャラバン(毎月第1土曜日 午後2時～約30分)

※参加料：無料

直接会場(こどものぶんがく室)にお越しください。

当館カルチャーサポーターによる土佐民話紙芝居の実演や絵本の読み聞かせを中心に、企画展や季節の行事に関連した作品などを紹介します。



◆また、「出張おはなしキャラバン」も開催可能ですのでご相談ください。◆

◆語りと紙芝居の会 定例会

(毎月第2土曜日 午後2時～)

※参加料：無料 直接会場(ホール)にお越しください。

語りと紙芝居の会のメンバーを中心に、参加者同士が語りや紙芝居の演じ方などを学びます。

(原則毎月第2土曜日の開催ですが、変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。)



◆朗読の会 (開催日 6/17、8/19、9/16、

11/18、12/16、3/16 午後2時～)

※参加料：無料 直接会場(ホール)にお越しください。

顕彰作家や企画展関連の文学作品を中心に、朗読カルチャーサポーターの朗読でお届けします。その他、サークル主体の会や朗読講座を予定。

◆「出張朗読」も承りますのでご相談ください◆



◆文学マイスター講座 (開催日 5/27、6/24、

7/22、8/26、10/28、11/25、2/4)

午後2時～ ※参加料：無料 事前に申し込みが必要です。

「牧野富太郎と文学」をテーマに郷土の作家・ゆかりの文学作品について専門家の講義で深く掘り下げる連続講座です。



◆近世土佐文学研究会

(毎週火曜日 午後1時30分～)

※参加料：無料 事前にお問い合わせください。

近世土佐文学資料を中心に、原文で読み、解釈することで、古典に対する理解力や土佐の文学に対する関心を深める研究会です。

(古文書解読レベルは上級。※初めての方は事前申し込みが必要です。)



◆朗読コンクール(地区審査(県内3会場)8月中旬～下旬/県審査 11月予定)



今年で26回目を迎える、県内小中学生を対象にしたコンクールです。児童生徒の皆さんによる表現豊かな朗読が披露されます。

※コンクールへの参加申し込みは、学校ごとになります。ふるってご参加ください。

※朗読の会と文学マイスター講座について、
の日は高知城ホールにて行います。

展覧会やイベントについての詳細は
お気軽にお問い合わせください。

